

## フランク・ヤメ講演会のご案内

### 1 駒澤

日時：2月28日（木）午後2時～6時

会場：駒澤大学会館246、7階、701・2（世田谷区駒澤1017018、電話；030341809645）、地下鉄・田園都市線「駒澤大学」駅下車、国道246号線沿いに駒澤大学に向かって直進し、徒歩5分、「ローソン」の左隣

#### 講演者と演題

マンフレッド・フランク教授（チュービンゲン大学）

「「同一性と非同一性との同一性」——「絶対的同一性体系」へと  
到るシェリングの道程」

**（“Identität der Identität und der Nichtidentität“.  
— Schellings Weg zum „absoluten Identitätssystem“）**

クリストフ・ヤメ教授（リュースブルク大学）

「始原的の思惟 対 世界市民主義——ハイデガーにおけるヒューマニズムの破壊とヘルダーリン」

**（Anfängliches Denken versus Weltbüergertum.  
— Hölderlin und die Destruktion des Humanismus bei Heidegger）**

なお講演原稿は日本ヘーゲル学会のホームページに掲載されていますので、ご参加の折にはそれをダウンロードしてお持ちください。さらに、通訳と翻訳も付きます。

### 2 新潟

日時：2013年3月2日（土）14時より

会場：新潟大学、駅南キャンパス「ときめいと」

Takashi Kurihara (Niigata)

**Das von Reinhold aufmerksam gemachte Zweifel, dass Schelling über Identität" von Bardili plagierte**

Christoph Jamme (Lüneburg)

**Hegel und Herder**

Manfred Frank (Tübingen)

**„Identität der Identität und der Nichtidentität“  
Schellings Weg zum „absoluten Identitätssystem“**

#### マンフレッド・フランク氏の経歴

1945年生まれ。1964年よりハイデルベルク大学で哲学・ドイツ文学を研究。1977年～80年、デュッセルドルフ大学講師、1981～82年、同員外教授。1981～87年、ジュネーブ

大学教授。1987年よりチュービンゲン大学哲学教授。専門は、カント、初期ロマン主義、初期ドイツ観念論、自己意識論、解釈学、文学論

<主な著書>

『ドイツロマン主義における「時間」の問題』（博士論文；1972年）、『個別的な普遍者。シュライエルマッハーによるテキストの構造化と解釈』（教授資格論文；1977年）、シェリング『啓示の哲学。1841/42年』（編著：1977年）、『語りうるものと語りえないもの。最近のフランス解釈学とテキスト理論の研究』（1980年）、『近代神話論の講義』（1982年、1988年）、『シェリング哲学入門』（1985年）、『理解の限界。ハーバーマースとリオタールの対話』（1988年、[岩崎稔訳、三元社]）、『初期ロマン主義の美学への入門講義』（1989年、[小田部胤久氏の書評、『美学』41号]）、『自己意識と自己認識。主観性の分析哲学』（1991年）、カント『判断力批判』・美学・自然哲学諸論文（編著：1996年）、『「無限の接近」。哲学的初期ロマン主義の根源』（1997年）、『ドイツ観念論からの出口』（2007年）

### クリストフ・ヤメ氏の経歴

1953年生まれ。1972年よりルール大学（ボーフム）で哲学、ドイツ文学などを研究。1981年よりヘーゲル・アルヒーフ研究員、ルール大学講師。1989□90年、オランダ先端研究所研究員。1994年、シラー大学（イエーナ）教授。1997年よりリューネブルク大学哲学教授。専門は、初期ヘーゲル、ヘルダーリン、神話論、ハイデッガー、現象学、文学論

<主な著書>

『ドイツ精神史におけるホンブルク』（共編著：1981年、[久保陽一抄訳、公論社]）、『「教えられざる書物」——ヘーゲルとヘルダーリンとの間で1797□1800年にフランクフルトで行われた哲学的協同』（博士論文；1983年）、『理性の神話論——ヘーゲルの「ドイツ観念論最古の体系計画」』（共編著：1984年）、『「神は装いたもう」——現代の哲学的神話論の観点と限界』（教授資格論文；1991年）、『神話哲学入門』（1991年）、『ヘルダーリンとドイツ観念論』（共編著：全4巻、2003年）、『論理と現実』（共編著：2012年、[邦訳『ヘーゲル哲学研究』15号・16号、『ヘーゲル体系の見直し』理想社]）